

関大 LMS 説明会用テキスト

教員の方へ

2016 年 9 月 26 日

日本データパシフィック株式会社

(1) 「関大 LMS」について	3
1-1 関大 LMS のご紹介	3
1-2 関大 LMS を活用いただける場面	3
1-3 コースと主なユーザの種類と役割	9
(2) 操作方法	12
2-1 ログインの手順	12
2-2 資料の作成	15
2-3 小テストの作成	17
2-4 成績データの確認方法	22

(1)「関大 LMS」について

1-1 関大 LMS のご紹介

インターネットを利用して、資料の提示、テストの実行、レポートの提出や成績データの集計が行える e-Learning システムです。

PC やタブレット、スマートフォンからご利用いただくことが可能です。

主な機能は以下の通りです

- ・資料の配布や提示
- ・テスト/アンケートの実施
- ・成績の確認（レポートの採点も可能）
- ・電子掲示板（質問場所の提供）
- ・チャット
- ・メッセージ機能
- ・出席確認
- ・学内のインフォメーションシステム
（採点入力システム）へインポート可能な
テスト点数の出力



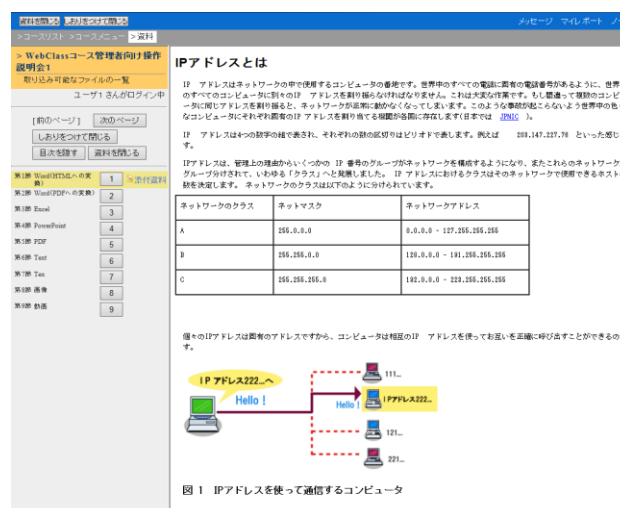
1-2 関大 LMS を活用いただける場面

1-2-1 資料の配布

教員がパソコン上で作成した資料（Word や Excel、PowerPoint など）を関大 LMS 上にアップロードすることができます。

枚数の多い資料を印刷する必要がなくなり、欠席した学生にも資料を配布することができます。

右図は学生が画面上で資料を閲覧する画面です。



1-2-2 検定試験の模擬問題の作成と実施

①検定試験対策の模擬問題を関大 LMS 上で作成して学生に提供できます。

音声や画像のファイルを問題文の一部としてアップロードすることもできます。制限時間を指定して、実際の試験に近い条件で回答させることができます。

The screenshot shows the '問題作成' (Question Creation) screen in the LMS. It includes fields for '問題タイプ' (Question Type), '難易度' (Difficulty), '制限時間' (Time Limit), and '正解' (Correct Answer). There are also options for '問題文' (Question Text) and '解答' (Answer). The interface is designed for creating multiple-choice questions.

右図は先生が問題を作成している時の画面です。

1-2-3 教材の実施状況を管理

「進捗状況一覧」画面で各教材の「実施回数」と「合計利用時間」を確認可能です。

成績評価の材料にすることもできますし、進捗の悪い学生を確認して、個別にメッセージを送信する事ができます。

ユーザ ID や集計期間で絞り込み表示をすることも可能です。

進捗状況一覧 - 基礎物理学

表示切り替え: 実施回数 | 合計利用時間

[-] 絞り込み検索

ユーザID: 直接入力指定: CSVファイルから指定: 参照... ファイルが選択されていません。
 氏名: 直接入力指定: CSVファイルから指定: 参照... ファイルが選択されていません。
 教科名: 選択済み: 基礎物理学
 集計期間: 2011年 4月 1日 から 2011年 12月 31日
 対象者: ☒ 履修のあるメンバーのみ表示 ☐ 管理者を含める

再表示

実施回数一覧
 集計日時: 2014-01-30 13:58:53, 集計期間: 2011-4-1 から 2011-12-31, 履修のあるメンバーのみを表示
 この表をダウンロード

Mail	氏名	ユーザID	第1回 ユニット			第2回 ユニット			第3回 ユニット			出席	遅刻
			実施回数	利用時間	平均回数	実施回数	利用時間	平均回数	実施回数	利用時間	平均回数		
☒	user1	user1	[2]	[2]	[4]	[3]	[3]	[4]	[2]	[3]	[2]	4	0
☒	user2	user2	[1]	[2]	[3]	[2]	[2]	[3]	[2]	[2]	[1]	2	0
☒	user3	user3	[1]	未	未	未	未	未	未	未	未	2	0
☒	user4	user4	[1]	[1]	[2]	[1]	[2]	[2]	[1]	[1]	[2]	1	1
☒	user5	user5	[2]	[1]	[1]	[4]	[2]	[1]	[1]	[4]	[2]	1	0
受講者の平均回数			1.4	1.5	2.5	2.5	2.2	2.5	1.5	2.5	1.8	2	1

※ 一覧には管理者は含まれていません。

表の使い方
 実施回数も利用時間も一覧表示されます。[-] で開かれた数字をクリックすると、その教材の学習履歴を確認することができます。氏名またはユーザIDをクリックすることで表のソートができます。

≫ 1-2-6 会議室（掲示板）を利用したゼミ運営

関大 LMS の会議室(掲示板)を利用して、学生同士や教員・学生間で意見交換が可能です。



≫ 1-2-7 PC が使えない教室での小テストの実施

PC が設置されていない教室であっても、スマートフォンやタブレット端末からスマートフォン・タブレット用画面で回答をする事ができます。場所を選ばないので、移動中などの短い空き時間に利用できる教材を提供することもできます。

スマートフォン・タブレット用画面は、以下の機能にも対応しています。

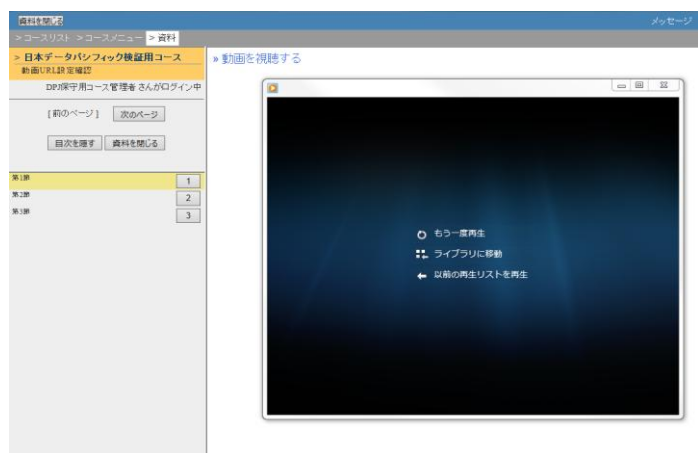
- ・ 会議室教材への投稿
- ・ 資料教材の閲覧
- ・ 成績確認
- ・ お知らせの表示やメッセージの送受信 など



≫ 1-2-8 動画の配信

動画教材を配信可能です。

動画ファイルの形式は、PC とスマートフォン両方から閲覧可能な mp4 (H.264) を推奨いたします。



≫ 1-2-9 学生や教員の様々な情報の管理と公開（学習カルテ）

学生ひとりひとりの情報を記録し、先生と学生の間で共有できます。ファイルをアップロードして報告書を提出させたり、連絡や感想を記入してやりとりを記録したりでき、個別指導に役立つツールです。

それぞれの項目に書き込みや閲覧の権限を設定できるので、学生には見せたくない情報も記録できます。

学習カルテについて

学習カルテ機能は、学生や教員が登録した様々な情報を一元的に管理、公開することができる機能です。作成した項目ごとに公開する範囲を設定できるため、以下のようなニーズに応えることができます。

大学4年間での活動記録や学習成果を蓄積したい

学生ごとの指導記録を保存したい

就職支援のためのデータを管理したい

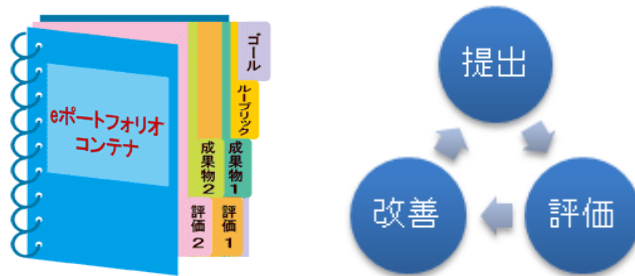
学習カルテの例

氏名 山田 太郎 フリガナ ヤマダ タロウ 写真	プロフィール項目で卒業まで変わらないデータ。システム管理者が管理する情報。
出身校 ウェブ学園高校	学生に入力させる情報
相談欄 10月24日 文法が苦手とTOEICの点数が伸びません。どうしたらいいでしょうか？ 10月25日 まずは基本からです。良い参考書がありますので先生のところにきてください。	学生と教員間で双方向のやり取りが可能。書き込みがあるとメールでお知らせ。
指導記録 基本的な文型から指導した。	後で他の先生が参照できるように記録を残す。学生からは見えない。
個人メモ 6/10 遅刻、6/17 遅刻、7/23 欠席、ちょっとサボりがちか？ 今度声をかけてみよう。	個人的なメモを記録する。他の先生、学生からは見えない。

≫ 1-2-10 評価活動により気付きの誘発を支援する (e ポートフォリオコンテンツ)

PBL (課題解決型学習) を作業に置き換えてサポートするツールとして e ポートフォリオコンテンツがあります。

課題に対するレポート (学習成果物) を蓄積するだけでなく、学生の振り返りが行いやすいように学習成果物と評価を紐づけて管理します。



評価には、「自己評価」「相互評価」「教師評価」がございます。

他者を評価する作業では、新たな発見や客観的な視点を養い、提出と振り返りを繰り返す作業で、自立学習を促進します。

評価のグラフ表示によって、学習の成果を可視化可能です。



PBL : e ポートフォリオコンテンツのグループ対応

e ポートフォリオ・コンテナ

基礎工学実験演習 第五回

作成者 鈴木 先生

最終更新日 2013-12-24 19:37:48

評価対象

グループ1

山田 太郎

大貫 絵里

吉川 博美

武井 利三郎

片桐 健蔵

学生一覧

グループ1 (2)

山田 太郎

大貫 絵里

吉川 博美

武井 利三郎

片桐 健蔵

グループ2 (1)

大関 博満

諸星 達志

本村 明彦

斉藤 信玄

大井 恭一

グループ3 (0)

矢田 範明

上冬 明彦

説明

熱ルミネセンス検出器を用いた線量測定

[詳細説明](#)

学習成果物

実験レポート1

大貫 絵里 2013-12-24 19:39:42

提出します。

実験レポート2

山田 太郎 2013-12-24 19:41:45

ゴール

放射線源を正しく取り扱う

熱ルミネセンス検出器を正しく取り扱う

線量を正しい手順で測定できる

1-3 コースと主なユーザの種類と役割

≫ 1-3-1 主なユーザの種類と役割

▽ システム管理者(admin)

ユーザの登録やコースの作成を行います。

▽ コース管理者(author…先生)

教材の作成や成績の閲覧を行います。

▽ ユーザ(user…学生)

教材の受講を行います。

▽ オブザーバ(observer…成績管理者)

成績の管理を行います。

▽ TA(ティーチング・アシスタント…一部の権限が付与された学生)

資料教材やテスト教材を作成したりコース運用に関する手助けを行います。

▽ SA(スチューデント・アシスタント…一部の権限が付与された学生)

資料教材の作成などで先生の手助けを行います。

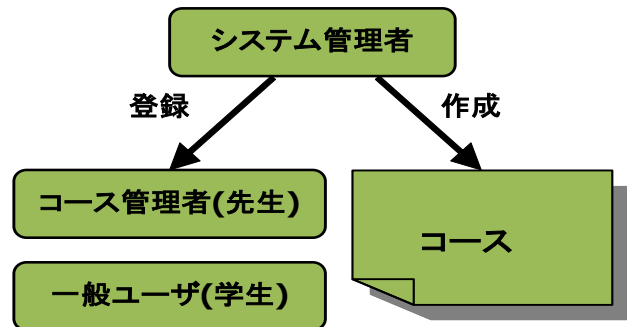
	ユーザ、コース の作成	コースへのメ ンバー登録	教材作成	成績閲覧	教材の実施
システム管理 者(admin)	○	○	×	×	×
コース管理者 (author)	×	△	○	○	○
ユーザ (user)	×	×	×	○ ※自分の成績のみ	○
オブザーバ (observer)	×	×	×	○	○
TA	×	○	○	×	○
SA	×	×	△	×	○

「コース」は授業科目に相当します。関大 LMS ではコースごとに教材・レポート・成績や学習の履歴が蓄積されます。

1-3-2 関大 LMS を利用する際の流れ

1. 初めに、システム管理者は「ユーザ」の登録と「コース」の作成を行います。

「ユーザ」と「コース」は、csv ファイルを使って一括登録を行うことが可能です。

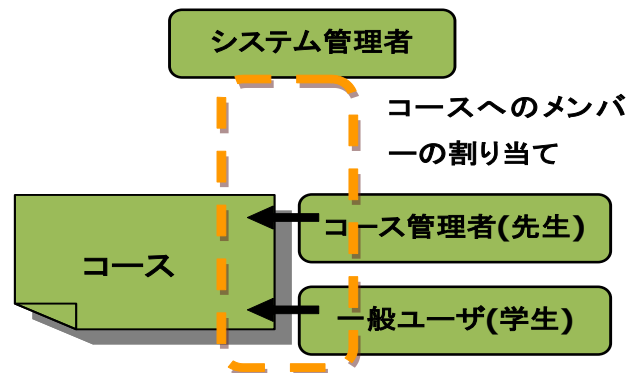


サーバ間のデータ連携により「ユーザ」と「コース」は自動登録されます。

2. システム管理者が各コースへメンバーを割り当てます。

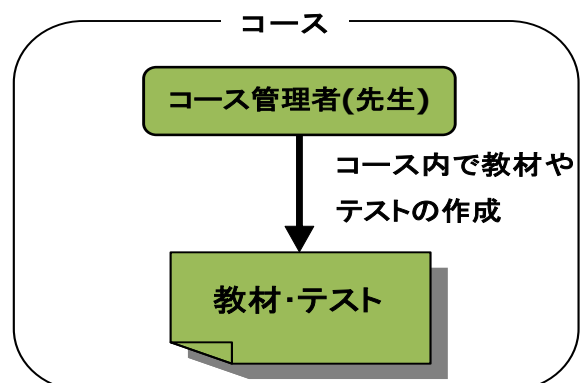
csv ファイルを利用した、一括メンバー登録も可能です。

サーバ間のデータ連携により「コースメンバー」は自動登録されます。

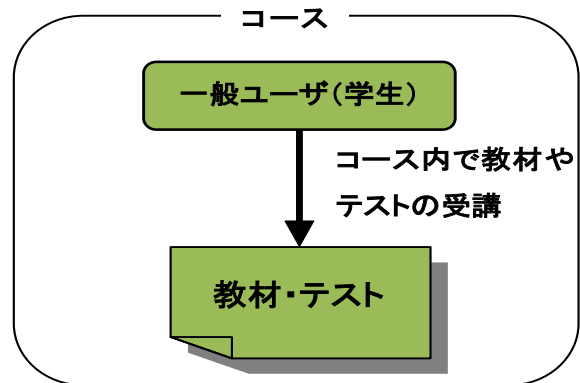


3. コース管理者（先生）は、割り当てられた「コース」内で資料教材やテストの作成を行います。

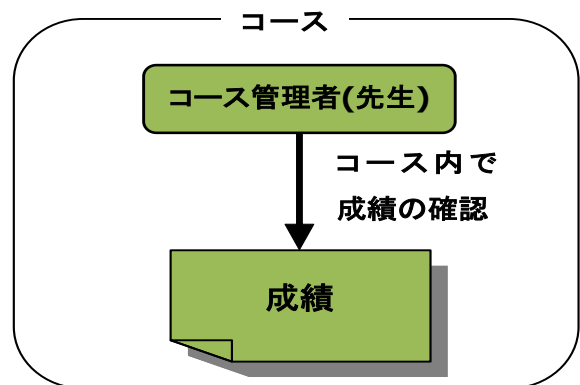
コース管理者（先生）は、ログイン後、コースに入って（担当しているコース一覧から対象のコースを選択することで）資料教材やテストの作成を行います。



4. 一般ユーザ（学生）は、所属している「コース」内で資料教材やテストの受講を行います。
モバイル端末からの受講も可能です。



5. コース管理者（先生）は、「コース」内で成績データの確認を行います。
コース管理者（先生）は、コース内で成績データの確認や、回答内容の分析を行います。



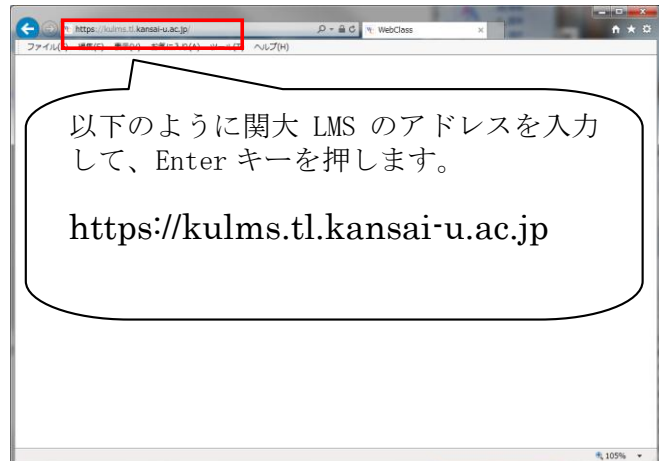
(2) 操作方法

2-1 ログインの手順

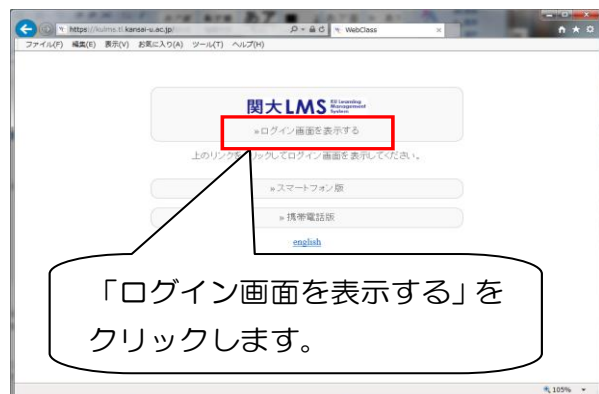
≫ 2-1-1 関大 LMS の開始方法

自分のコンピュータ上でブラウザを起動して、アドレス欄に以下のように関大 LMS のアドレスを入力して Enter キーを押します。

`https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp`

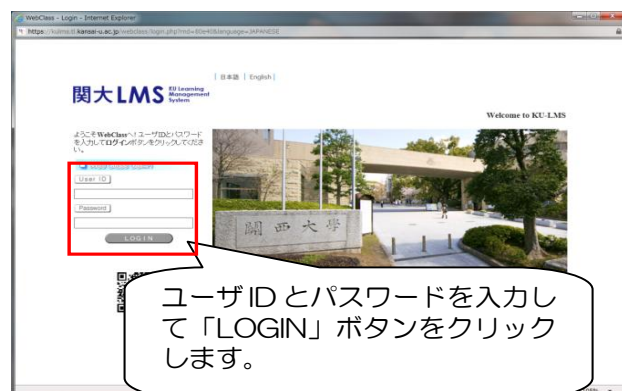


「ログイン画面を表示する」をクリックします。



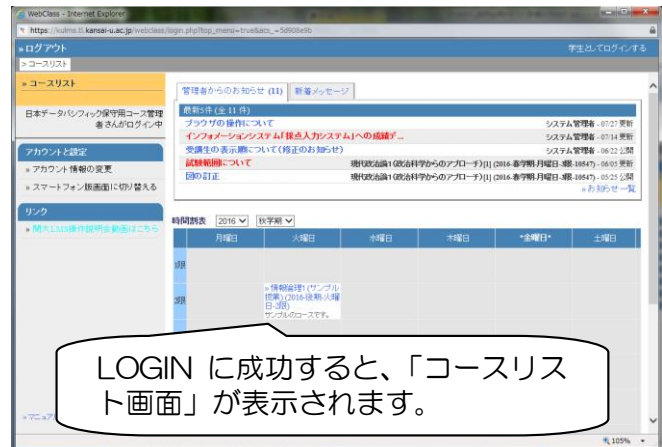
関大 LMS のログイン画面が表示されますので、まずはコース管理者（先生）でログインを行います。

以下のユーザ ID とパスワードを入力して「LOGIN」ボタンをクリックします。



関大 LMS へのログインに成功すると、この ID のユーザが所属しているコース一覧が表示されます。

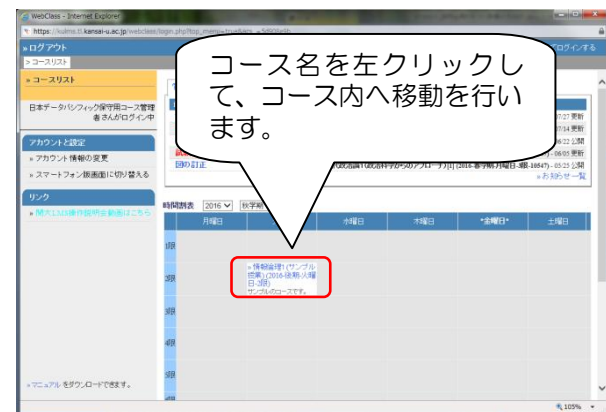
※コースは授業科目に相当します。



≫ 2-1-2 コース内への移動

教材の作成、成績管理はコース内へ移動して行います。

「情報倫理 1 (サンプル授業)」を左クリックしてコース内へ移動します。



コース内へ移動を行うと、「コースメニュー画面」が表示されます。画面左側に機能メニュー、画面右側に教材の一覧が表示されます。



≫ 2-1-3 コースメニュー画面のご説明



▽ 資料

資料の閲覧や配布が可能です。

▽ テスト/アンケート

「選択式」、「記述式」、「レポートの提出」などの形式でテスト/アンケートを作成可能です。また、匿名のアンケートも作成できます。

▽ 会議室

スレッド式の電子掲示板です。非同期で意見を交わすことが可能です。

▽ ユニット

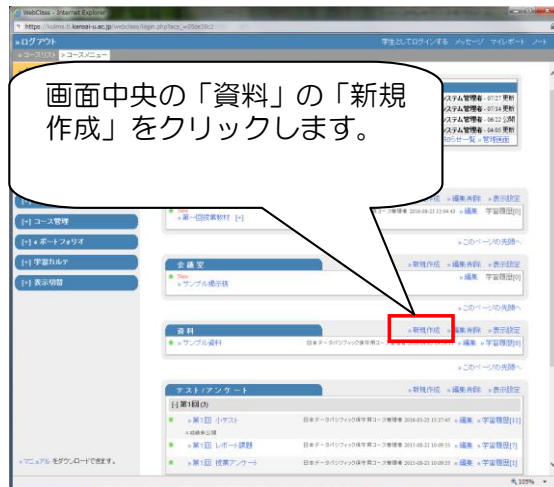
「資料」「テスト/アンケート」「会議室」を組み合わせた教材です。実施順序の指定や、「テストで80点以上を取らないと次の資料を閲覧できない」などの設定が可能です。

2-2 資料の作成

» 2-2-1 資料の作成方法

資料教材を作成してみましょう。

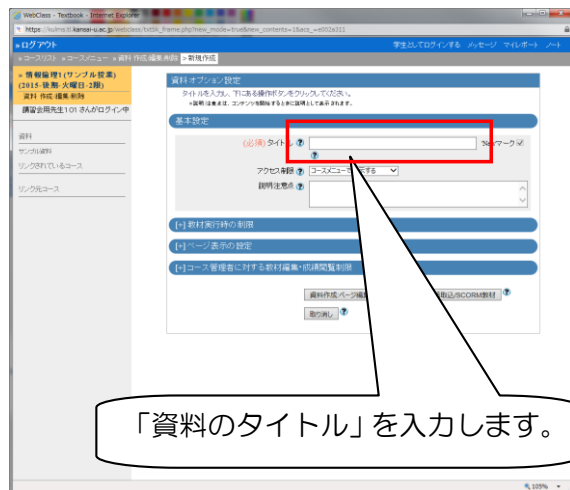
画面中央にある資料の「新規作成」をクリックします。



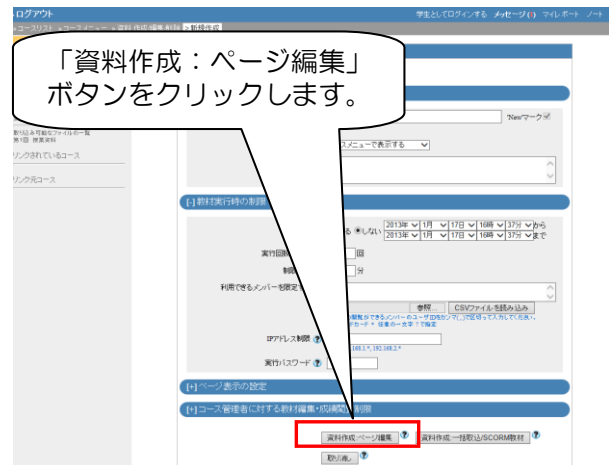
「資料オプション設定」画面では、「タイトル」を必ず入力します。

ここでは「授業資料（ご自分のお名前）」を入力します。

この画面内で「実行回数の制限」「時間制限」「日時制限」などのオプションを設定することが可能です。



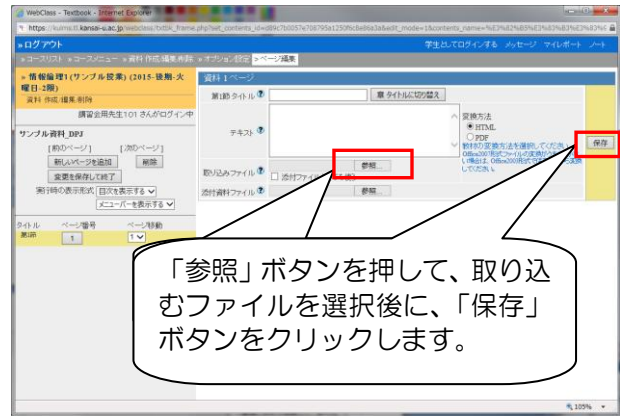
「資料のタイトル」を入力したら、「資料作成：ページ編集」ボタンをクリックします。



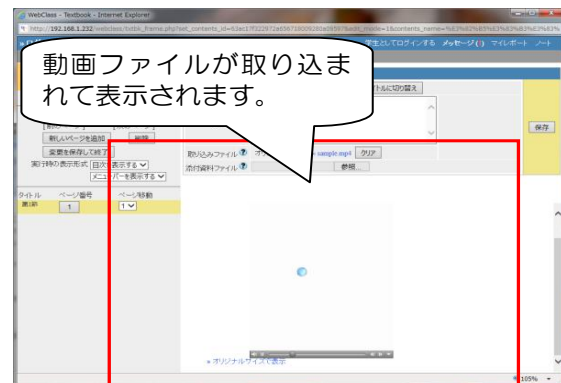
「テキスト」欄に直に内容を入力することもできますが、今回は事前に用意したファイルを指定して取り込む方法で資料を作成しましょう。

「参照」ボタンを押して、関大 LMS へ取り込むファイルを選択します。

ここでは「sample.mp4」を選択して「保存」ボタンをクリックします。



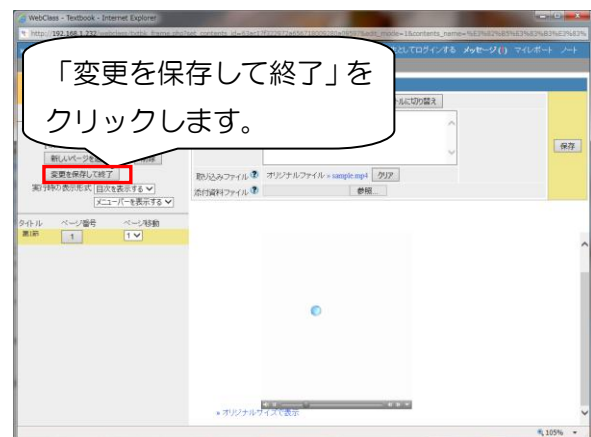
取り込んだファイルのプレビューが表示されます。



続けて資料を作成する場合は、「新しいページを追加」ボタンをクリックします。

今回は「変更を保存して終了」ボタンをクリックして資料教材の作成作業を終了します。

作成した資料は、コースメニュー画面右上の「学生としてログインする」をクリックして、学生からどのように見えるのか確認可能です。

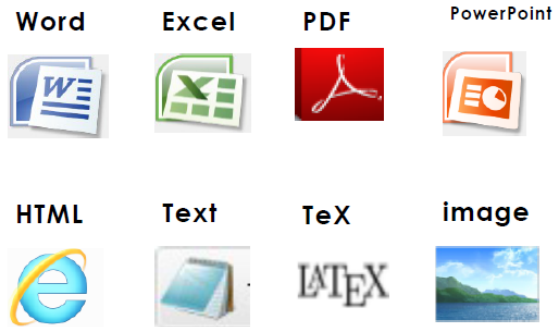


※一度に取り込めるファイルのサイズは、200MB までです。

(Word、Excel、PowerPoint ファイルは 20MB までとなっています)

≫ 2-2-2 取り込み可能なファイルの種類

対応ファイルの一覧



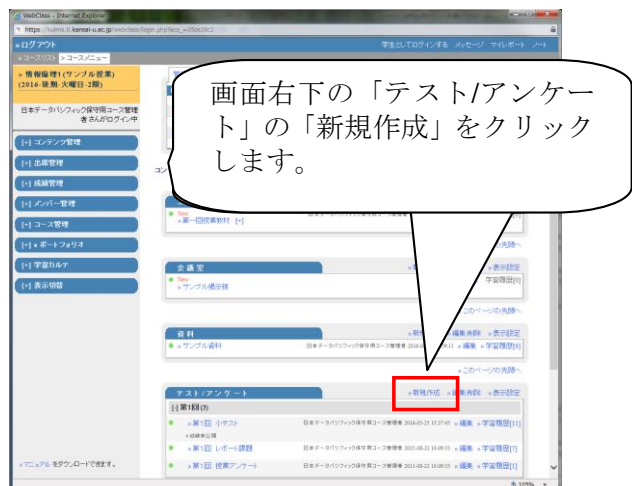
動画ファイル	音声ファイル	OpenOffice.org
WMV MOV mp4 mpg Avi Flv	WAV MP3	Writer Calc Impress
圧縮ファイル	その他	
zip Tar.gz	Flash ChemBioDraw ChemBio3D HotPotatoes SCORM1.2	

※画像ファイルは BMP、JPEG、GIF、PNG 形式のファイルを取り込み可能です。

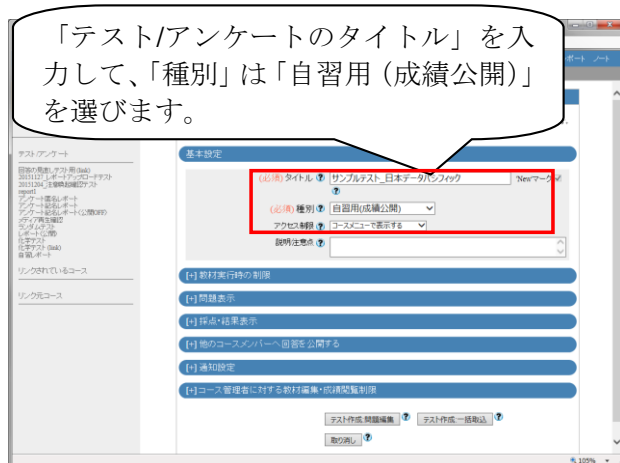
2-3 小テストの作成

≫ 2-3-1 小テストの作成方法

画面右下の「テスト/アンケート」の「新規作成」をクリックします。

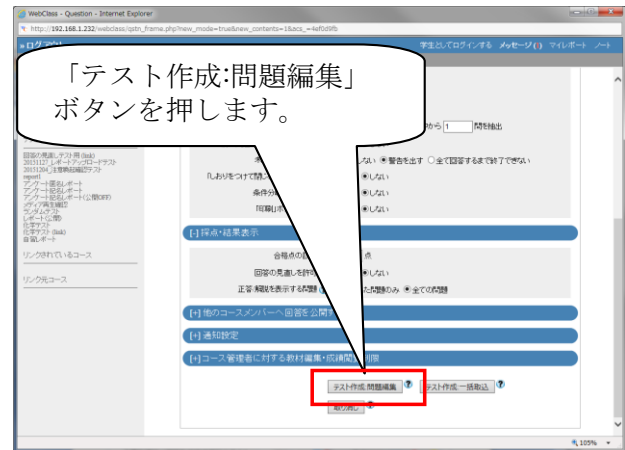


「テスト/アンケートオプション設定」画面では、「テスト/アンケートのタイトル」へ「サンプルテスト(ご自分のお名前)」を入力して、「種別」は「自習用(成績公開)」を選びます。



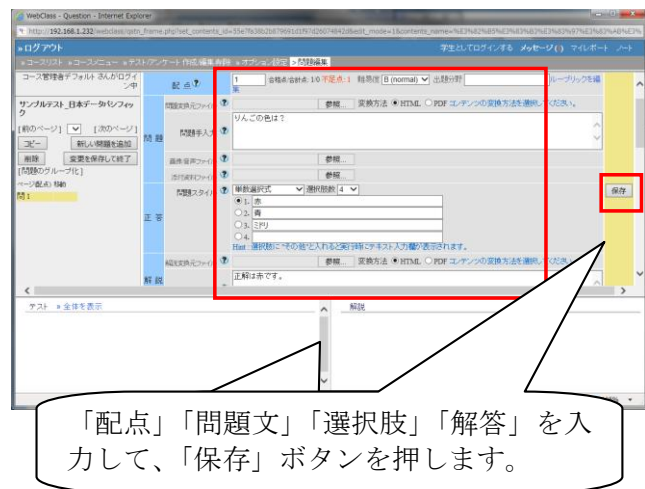
「テスト/アンケートのタイトル」とオプションの設定を行ったら、「テスト作成:問題編集」ボタンを押します。

「この教材は今すぐ公開されます。よろしいですか?」と尋ねられますので、「OK」ボタンをクリックします。



「配点」へ「1」、「問題文」へ「りんごの色は?」、「選択肢」へそれぞれ「赤」「青」「白」、「解説」へ「正解は赤です」と入力を行います。

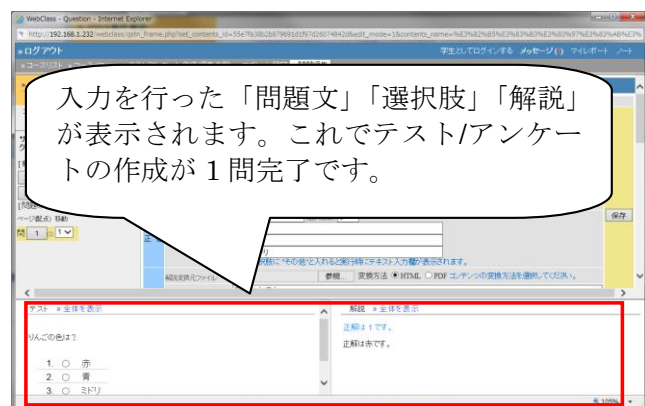
正解の選択肢の「赤」の左横のラジオボックスをクリック後に、「保存」ボタンを押します。



画面下部に、入力を行った「問題文」「選択肢」「解説」が表示されます。

以上で、テスト/アンケートの作成が1問完了しました。

作成したテストは、コースメニュー画面右上の「学生としてログインする」をクリックして、学生からどのように見えるのか確認可能です。



≫ 2-3-2 作成可能なテスト/アンケートの形式

「単数選択式」

→ 選択肢から正しい答えを一つ選択します

正しいと思われる選択肢を1つ選んでください。

-
1. ☐ 1つ目の選択肢です。
 2. ☐ 2つ目の選択肢です。
 3. ☐ 3つ目の選択肢です。
 4. ☐ 4つ目の選択肢です。

「複数選択式」

→ 選択肢から正しい答えを複数選択します

正しいと思われる選択肢を2つ選んでください。

-
1. ☐ 1つ目の選択肢です。
 2. ☐ 2つ目の選択肢です。
 3. ☐ 3つ目の選択肢です。
 4. ☐ 4つ目の選択肢です。
 5. ☐ 5つ目の選択肢です。

「単語/数値入力」

→回答を記入します

(1)、(2)に入る答えを入力してください

(1)あなたが今使っているシステムの製品名は何ですか？ 大文字小文字を含めて正しく入力してください。

(2)インターネット技術を使った学習システムを一般的に何と呼びますか？

-
- (1)
 - (2)

「記述式」

→文章で回答を記入します（採点は後でコース管理者が行います）

あなたは今朝何を食べましたか？ 下のテキストエリアに自由に入力してください。

機種依存文字は使用しないでください。入力した文章が正しく保存されているかどうか「入力した内容の確認」ボタンをクリックして確かめてください。

「レベル選択式」

→数字を選択して回答を行います

あなたはコンピュータが得意ですか？ 5段階で教えてください。

不得意 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 得意

「ドロップダウン選択式」

→ドロップダウンリストから選択して回答を行います

〈1〉と〈2〉に当てはまるものを選びなさい。
コンピュータウイルスは〈1〉であり〈2〉を目的としたものである。

(1) 02. プログラム ▼

(2) 未解答 ▼

未解答
 01. 生物
 02. プログラム
 03. 妨害行為
 04. 治療

「レポート提出」

→ファイルを提出して回答を行います（採点は後でコース管理者が行います）

レポートを提出してください。

「マッチング形式」

→A 群、B 群からそれぞれマッチするものを回答します

次の漢字の読み方を選んでください。

(1) 鰯 →	未解答	▼
(2) 鯉 →	05. かつお	▼
(3) 鱈 →	未解答	▼
(4) 鯖 →	未解答	▼
(5) 鯨 →	01. たら	▼
	02. しけし	
	03. さわら	
	04. くじら	
	05. かつお	

「順序付け」

→並び替えて回答を行います

次の英文を正しい順序に並べてください。

(1)	03	▼	a
(2)	02	▼	have
(3)	01	▼	I
(4)	未解答	▼	car
	未解答		(10)
	01		
	02		
	03		
	04		

「表形式」

→表の中から選択をして回答を行います

忘年会と新年会の開催に当たって、都合が良い日程を選択してください。

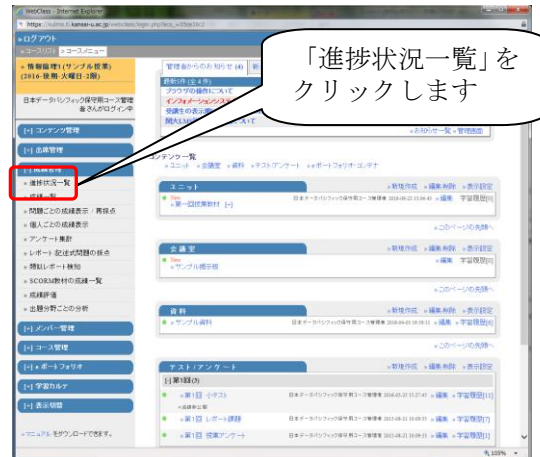
	12/27	12/28	12/29	1/7	1/8	1/9
忘年会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
新年会	☐	☐	☐	☐	☐	☐

2-4 成績データの確認方法

≫ 2-4-1 教材の実施回数/時間を確認する

画面左側メニュー「成績管理」の「進捗状況一覧」をクリックします。

進捗状況一覧では、ユーザの一覧とコンテンツの実施回数/合計利用時間が表示されます。



・氏名またはユーザ ID ボタンを押すことで表のソートができます。

・[実施回数]をクリックすると、コンテンツを学習した回数が表示されます。

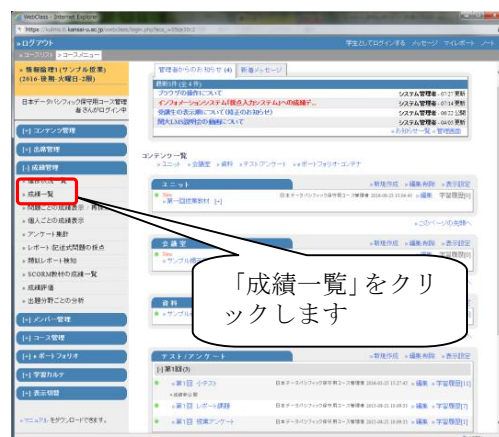
・[合計利用時間]をクリックすると、コンテンツを利用した合計利用時間が表示されます。



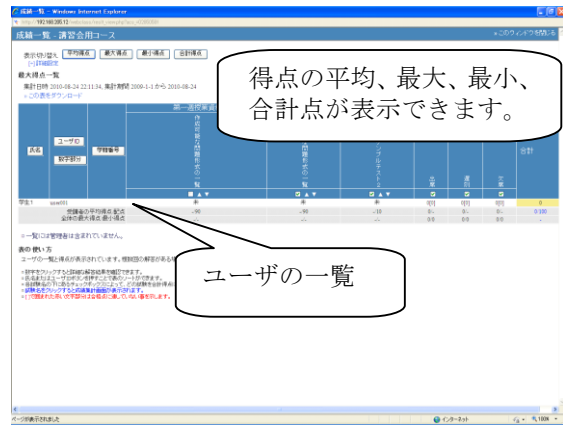
≫ 2-4-2 テストの点数を確認する

画面左側メニュー「成績管理」の「成績一覧」をクリックします。

成績一覧では、ユーザの得点一覧を表示します。



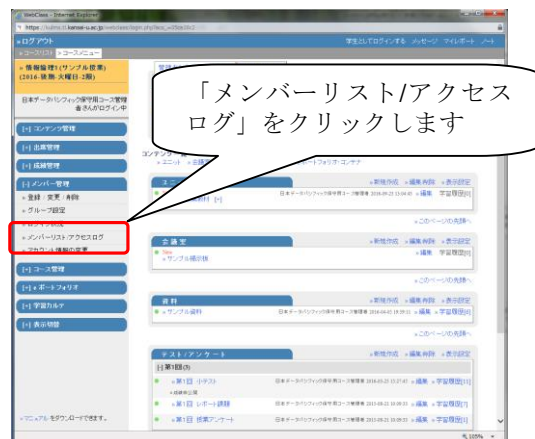
- ・複数回の回答がある場合には各個人の得点の平均、最大、最小、合計値を切り替えて表示できます。
- ・氏名またはユーザ ID ボタンを押すことで表のソートができます。
- ・合格点に達している点数は青字で、合格点未満の点数は赤字で表示されます。



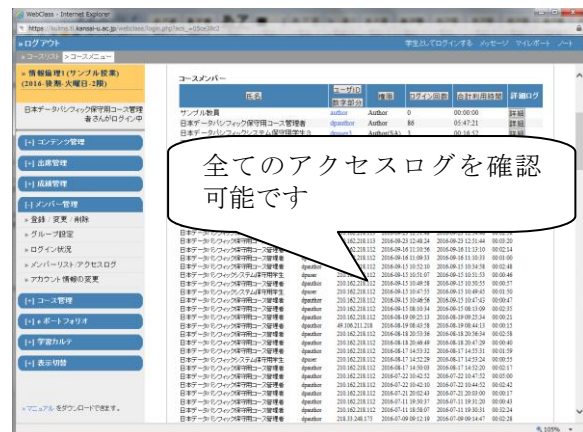
≫ 2-4-3 コースへのログイン回数・ログイン時間を確認する

画面左側メニュー「メンバー管理」の「メンバーリスト/アクセスログ」をクリックします。

メンバーリスト/アクセスログでは、このコースのメンバーのリストと、このコースの利用履歴を閲覧できます。



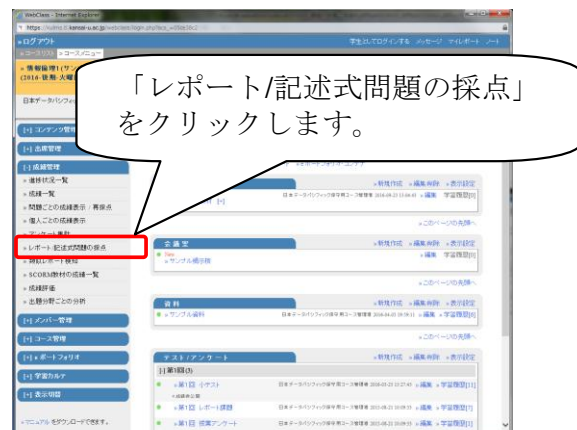
[全てのログを表示] ボタンをクリックすると、全てのアクセスログを確認可能です。



2-4-4 レポート課題を採点する

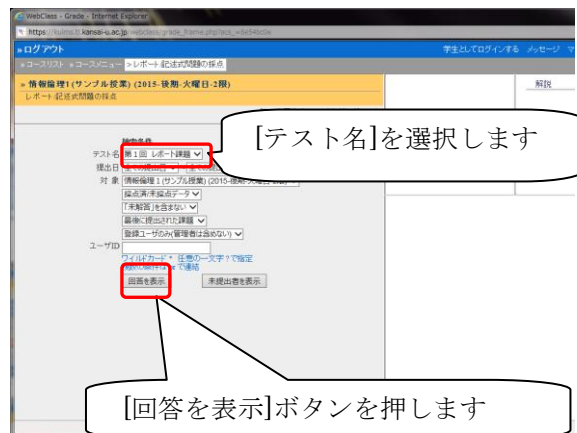
画面左側メニュー「成績管理」の「レポート/記述式問題の採点」を選択します。

画面が切り替わり、テスト名選択の画面になります。



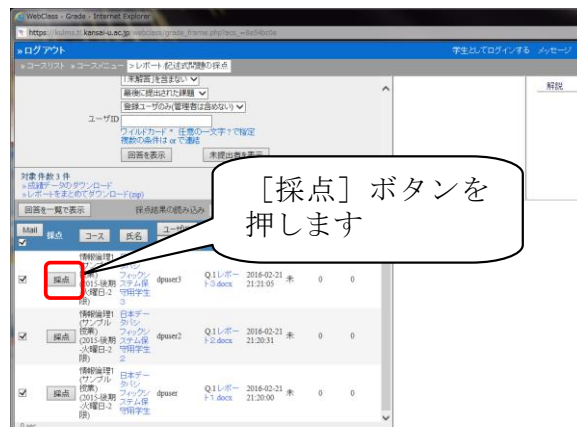
まず、対象となるテスト名を選択します。
必要があれば、抽出条件として実施日やユーザIDなどを指定します。

「回答を表示」ボタンを押します。



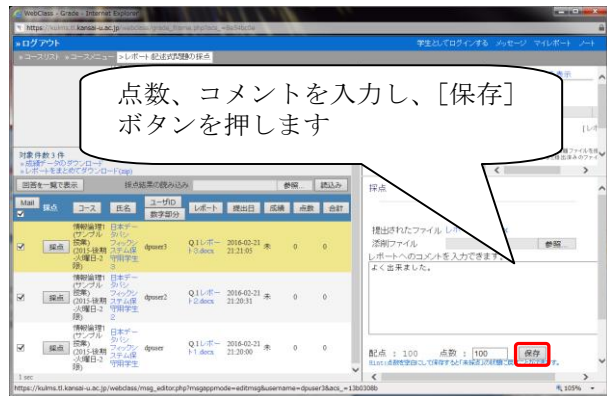
採点対象となる提出済みレポート/回答済み記述式問題のリストが表示されます。

「採点」ボタンを押します。

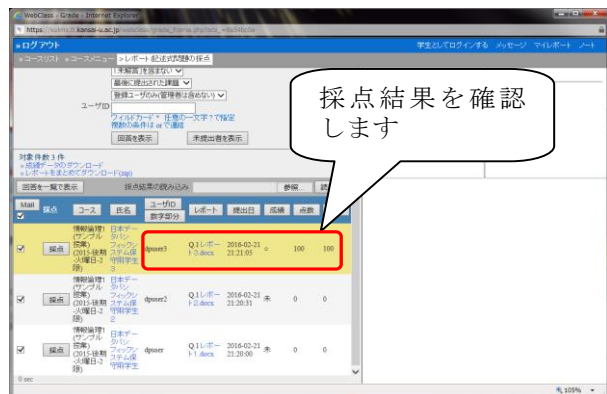


提出されたレポートに対するコメントと配点を入力します。

その後、[保存] ボタンをクリックすると、点数が確定します。



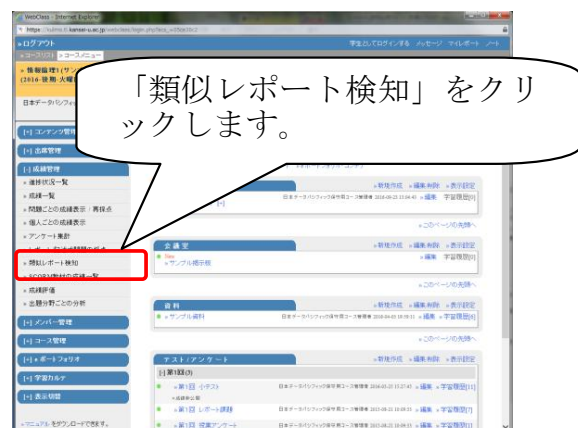
入力した採点結果を確認し、コース画面に戻ります。



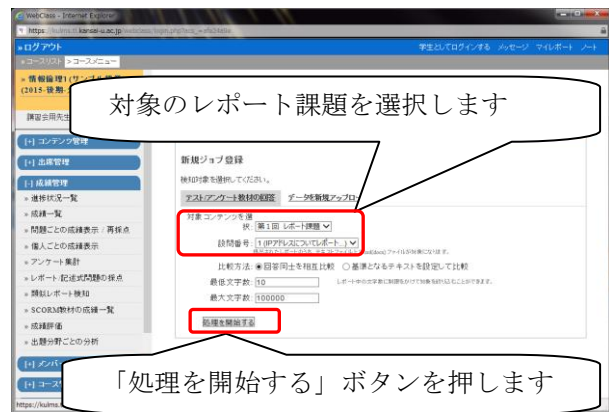
≫ 2-4-5 似通ったレポートを検出する

画面左側メニュー「成績管理」の「類似レポート検知」をクリックします。

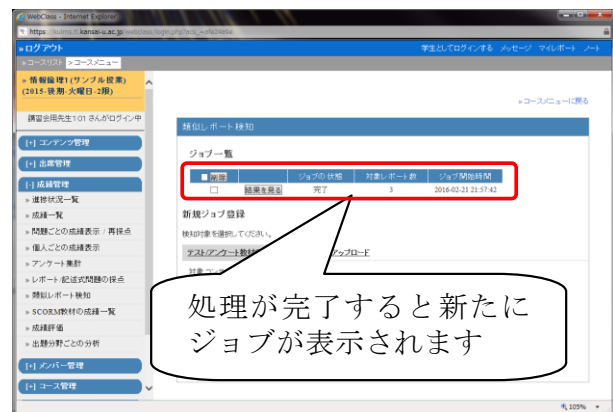
類似レポート検知機能は、提出されたレポートや記述式問題を総当たりで比較、もしくはは比較の基準となる文章を入力して提出されたレポートや記述式問題と比較して、似通っているものを検出する機能です。



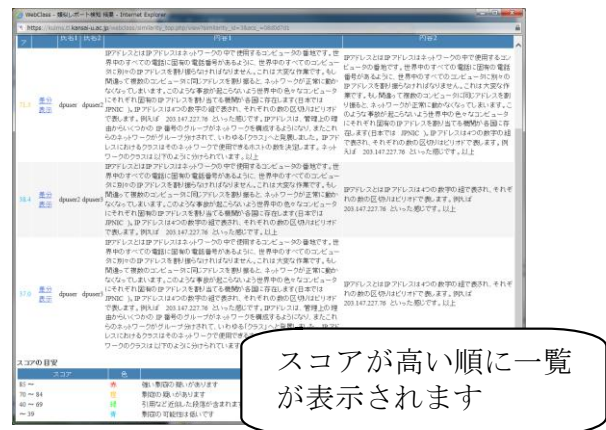
対象のレポート課題を選択して、「処理を開始する」ボタンをクリックします。



処理が完了するとジョブが表示されるので、「結果を見る」ボタンをクリックします。



類似度のスコアが高い順番で、提出されたレポートが表示されます。



以上